

車いす利用者とのコミュニケーションによるバリアフリー研修

《研修の目的》

- 乗務員さんと車いす利用者との相互理解を深めたい。
- 声かけのコミュニケーションにより、お互いの心理的な負担を軽減したい。

《研修の内容》

- ◆講師：車いす利用者（毎回変わります）、野下、三村、樋口
- ◆配布物：手順書、固定フックをかける位置

◆スケジュール

	内容
約 5 分	趣旨説明
約 5 分	障がい者の講話
約 15 分	固定の声かけ《実地》
約 5 分	アンケート
5 分～	質疑応答

普段の運転の時に気になっている点や、不安に感じている点などを、遠慮せずお聞きください。時間の許す限りお応えします。

リトラクター（新型固定装置）体験もできます。

車いす固定 声かけの例

場面	声かけの例
固定場所に案内する	
前側の固定をする	前側の固定をしますので、前に入らせてもらいますね。
	右側からフックをかけていきます。
後側の固定をする	後ろの固定をしますので、後ろに入りますね。
シートベルトをする	シートベルトをします。
	頭の上からベルトを通します。
	腕の下を通しますので、少し手をあげられますか？ 失礼します。
	きつくはないですか？
横転防止ベルトをする	横転防止のためベルトをしますね。
	ひじ掛けは動くタイプですか？
車いすのブレーキをする	安全のため車いすのブレーキをしてもらえますか？
お互いの最終確認	バスが動きますので、何かありましたらブザーや声でお知らせください。